

## ゆふぐれ

ゆふぐれになると、雀のようにはしやぎだす子供達！  
けれどまだあたりは、大地に酔ひ痴れてゐる酔漢の臭い息  
のやうに熱い。

棕櫚の葉に戯れてゐる小さな風  
子供達はぶらんこに乗つて夕焼けの空高く  
上つて行く。

夕月のやうに白い脛を見せて  
子供達よ、  
ふるさとの空に挨拶をおし。  
ぶらんこは明るい音をたて  
子供達の笑ひ聲が  
紅い花びらのやうに落ちて来る。

傍をそつと神さまの白い散歩  
ああ ゆふぐれよ。

繻帯の白さを巻いて  
私はまだこんな美しい風景の中に  
立つてゐた。

(昭和十一年「山桜」十月号)